

心つないで

No.31

発行

2011年11月12日

東日本大震災
ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉
(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

第19陣・豊山看護師(東雲診)と大倉職員(本部)の大船渡報告<11/7~11>

■ 第19陣は豊山看護師と大倉職員(2週間現地滞在)が現地入りし活動しました。

・11月8日、9日と、民間の借り上げ住宅にお住まいの被災者のお宅を訪問。健康調査票の回収と皆さんのお話を聞いて回りました。

・被災された方の中には、流出してしまったこれまでの大きな我が家から小さな空き家に移って五人で暮らし、多くのご苦労がありながら笑顔を絶やさずにお話して下さるおばあさんもおられ、こちらも元気をいただき微笑んでしまいます。また、別のお宅では、三年前に建てたばかりの家を流され、三十五年のローンだけが残り、何とかならないものかため息まじりのお話を伺い、自然災害被災者に対して政治が為すべきことを強く期待され求められていることを実感しました。

【写真・右】



少しづつ
希望の明かりも：



・10日、地区の周辺が流出した野々田地区に行きました。

・野田地区のなかにポツンと一軒理容室がオープン。真っ暗な夕方六時までお客を待ちながら営業。
【写真・左】



・そのお店の明かりが、辺りに希望や安心を照らしているように感じました。復旧に向かって少しずつ歩んでいるような・・・。

■ 海外からのボランティアも

・NPOオールハンズというハワイに本部があるボランティア団体は、三月中旬には活動と宿泊の拠点を「福祉の里」におき、今年十二月まで八ヶ月におよぶ活動～瓦礫・家屋・溝の掃除や魚臭い港周辺の工場の片付けなど～を地道に続けてきたそうです。

・中国、カナダ、オーストラリア、アメリカ等世界中の若者と日本人が、二～三十人飛び入り歓迎のにもかかわらずメンバーらしく、バスで朝早くから活動現場に出発して行きました。素晴らしい活動、団体だと思いません。【写真・右】



11/27

震災支援・健康まつり
まつりのスタビフボランティア
募集中!



紙ふうせんチャリティー・エンサート(午後)

チケット 買ってください! 売ってください!